

## 1. 事業の基となる施策

○第六次福井市総合計画

基本目標 みんなが学び成長するまち

政策 歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちをつくる

施策 市民の誇りとなる文化を振興する

## 2. 事業の目的

本市の美術文化の向上を図り、市民に親しまれる美術の祭典となることを目指して「市美展ふくい」を開催。市民に対して創作活動の発表の場と、美術作品の鑑賞の場を提供する。

## 3. 市が行う必要性

市美展ふくいは、市民の創作活動の発表の場として、また美術作品鑑賞の機会を提供する場として本市の文化芸術振興の一翼を担っており、県内を対象としている福井県総合美術展（福井県美展）や全国的な公募展への作品出品への登竜門としての役割も果たしている。本市の文化芸術を支える美術愛好者の増加と底上げを図るためには行政が主体となって恒常的に実施する必要がある。

## 4. 事業の概要（平成25年度）

<事業実施の背景と経緯>

市美展ふくいは、昭和60年に日本画／洋画／彫刻／書道の4部門の作品を募集する公募展としてスタートした。当初はフェニックスプラザを会場とし、公募作品の中から審査を行い、入選した作品及び審査員・無鑑査作家による招待出品作品を展示した。昭和62年の第2回展で募集部門に工芸／写真、昭和63年の第3回展でデザインが加わり、7部門を擁する本市唯一の総合公募展へと発展を遂げた。その後、平成9年の福井市美術館開館に伴い、事務局が文化課から美術館へ移動し、翌年の第13回展から美術館を会場として開催するようになった。さらに平成11年には本展の更なる発展を目指して、将来の展望を見据えつつ長期的な観点から企画・運営を総括的に行うための市美展ふくい実行委員会を組織し、平成12年の第15回展から開催業務を委託して現在に至っている。

なお、県美展が「ふくい県民総合文化祭」参加事業として秋に開催されることから、競合を避けるため春（5月）の開催としている。

平成25年度は「第26回市美展ふくい」（会期：5月17日～5月26日10日間）を開催した。審査の結果、優秀な作品には、表彰式で市長賞などの賞を授与した。また、本展会期中には関連イベントとして、山岳エッセイスト・増永迪男氏による講演会と、出品者と審査員がともに展示作品について意見を交わす「作品について話し合う会」を実施した。

### (1) 事業期間

昭和60年12月に第1回展を開催 ～終了予定年度は設定していない。

※平成17年度の「国民文化祭ふくい2005」開催に伴い、平成16年度は「プレ国民文化祭 美術展」、平成17年度は「国民文化祭ふくい2005 美術展」を開催し、2年間休止した。

### (2) 実施主体

福井市／福井市教育委員会

業務委託先 市美展ふくい実行委員会

市美展ふくい実行委員会の事務局は美術館内に置いている。

### (3) 事業の対象、または事業区域

事業の対象は不特定多数の市民であるが、応募資格者は、市内在住または、通勤・通学している高校生以上の人。

#### (4)事業実施手法

市美展ふくい実行委員会と業務委託契約の締結

※ただし、市美展ふくいが開催される2ヶ月前までにポスター、募集要項等の印刷物を配布するため、例年、前年度中に1～2回の実行委員会を開催し、前回結果報告、次回展の事業計画、開催告知用印刷物について協議している。

↓

委託業務の着手時と、会期終了後に委託料を市美展ふくい実行委員会に支払う

↓

徴収した出品料を市に納付

↓

事業完了報告書の受領

#### (5)担当職員数

＜担当職員数＞ 1人 ※他の業務と兼務

＜業務内容＞ ・市美展ふくい実行委員会（年約4回）開催に関する事務手続き  
・「市美展ふくい」開催に関する事務手続き  
・市美展ふくい実行委員の委嘱に関する事務手続き

#### (6)実施費用 ※単位：千円、決算額は千円未満切上げ、なお、25年度の決算額については見込額

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実行委員会決算額	5,795	5,607	5,596	5,615	5,410

25年度決算見込額内訳	
市からの委託料	5,300
市文化協会からの市文化協会会長賞受賞者褒賞金	70
交流会参加者からの参加負担金	40
合計	5,410

#### 委託料積算

賃金	114
報償費（副賞・審査員謝礼）	1,609
消耗品費	46
食糧費	252
印刷製本費（応募要項、目録等）	811
郵便料（印刷物送付等）	95
広告料（福井新聞、日刊県民福井）	333
手数料（振込手数料）	5
委託料（会場設営、展示作業等）	2,008
使用料（表彰式、講演会会場使用）	27
合計	5,300

＜委託業務内容＞ ・市美展ふくいの企画及び実施に関すること一式

## (7) 事業実績

出品者数、出品点数、入館者数の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
総出品者数	439 人	480 人	462 人	461 人	496 人
総出品数	505 点	538 点	525 点	516 点	551 点
入場者数	3,250 人	3,993 人	3,249 人	3,340 人	3,365 人

平成 25 年度 出品内訳

日本画	61 点
絵画・造形	132 点
彫刻	8 点
書道	125 点
工芸	41 点
写真	124 点
デザイン	60 点
合計	551 点

## 5. 所属による事業評価

<事業目標（平成25年度）>

出品点数を 520 点とする。

<目標達成状況>

順調又は目標達成（数値目標あり）

<評価理由>

出品点数は 551 点となり、目標を達成した。

## 6. 平成 26 年度以降の事業の進め方

### (1) 平成 26 年度前半（7 月末まで）の事業実績

「第 27 回市美展ふくい」 会期：5 月 16 日（金）～5 月 25 日（日） 10 日間

総出品者数 452 人（一般応募者：352 人／無鑑査作家：100 人）

総出品数 507 点（一般応募作品：407 点／無鑑査作家作品：100 点）

入場者数 3,302 人

### (2) 平成 26 年度後半（8 月以降）の事業の進め方

市美展ふくい実行委員会にて、今年度の市美展ふくい開催実績を踏まえ、来年度の事業計画を検討する。3 月末までに次回展開催のための告知用印刷物を作成、配布する。

### (3) 平成 27 年度以降の方向性及び理由

<今後の方向性> 「維持」

<理由>

本市が開催する唯一の美術公募展であり、高校生から高齢者まで、幅広い世代から作品が出品され、日頃の創作活動の発表の機会として、また県美展や全国的な公募展への作品出品への登竜門としての役割もあるため、継続して開催することが必要である。

## 7. 関連事業

### (1) 市の事業で関連する事業

なし

## (2) 県や国、民間で関連する事業

- ・ 県美展（主催 福井県総合美術展運営委員会）：公募部門は同じ。県全体が対象。今年度新企画として「子ども展」を実施。小中学生の作品も公募し、選考した作品を展示する。
- ・ 市民文化祭（主催 福井市文化協会）：絵画などの日頃の文化活動の発表。作品出品は、市文化協会への参加団体が対象であり、美術以外の文化活動も含まれている。

## 8. ホームページの検索

検索キーワード：市美展ふくい

URL：<http://www.art.museum.city.fukui.fukui.jp/>